



まこと館だより

Est.1912

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



理事長閑話 うめ草③

～昭和 20 年代ノスタルジー、
個人的な思い出ばなし その 1～



6 度目の歳男ともなると、時折忘れていた昔のことが思い出されます。通り過ぎた様々な出来事が心象に写り、心を去来するのです。そんな中、10 年前に 92 歳で逝った父のことは悔いと共にあります。もっと親しく心の交流が出来ていたらと。コミュニケーション下手の二人でした。

私は昭和 20 (1945) 年生まれ、幼児期から小学校に通うまで、木造 3 階建ての旧至誠学舎本館の一室に住んでいました。大きな建物でした。

今に続く私の家の最大の悲劇は、私の弟浩二が、今「まことくらぶ」の建っている場所にあった大きな池にはまって死んでしまったことです。昭和 24 年の春のことです。私は 4 歳、浩二は 2 歳の歩き始めた時期です。何で幼児にそんな事故が起きてしまったのか、親から聞くことも出来ず今日までできています。

24 年 7 月、祖母で法人 2 代目理事長のヨシおばあちゃんが、池の辺にお地藏様を建立し弔ってくれました。その池が埋め立てられた後、お地藏様は至誠ホームの庭の片隅に移り、お年寄りが時折手を合わせてくれています。お年寄りには子供を亡くしている方も多いのです。毎年 5 月 24 日の祥月命日には母と一緒にご詠歌クラブの皆さんが供養をして下さっています。縁の薄かった弟です私の記憶には無い弟ですが、最近なぜかその不憫さが胸に迫ります。～次回に続く～

理事長 橋本正明

事業本部長メッセージ

新年明けましておめでとうございます

平成 30 年、西暦 2018 年の幕が開けました。迎えた新年は「戌」年です。言い伝えによると戌(イヌ)はどこに行ってもご飯がもらえるので「食うものに困らない」また臭覚が鋭く「道に迷わない」、人間の相棒として「忠誠心が強い」などと言われます。

今年は春に介護報酬の改定を控え、情報によると 0.54% のプラス改訂とのことですが「迷いなく」、「喰うに困らない」よう切に願います。

干支は「十干」と「十二支」の組み合わせで、60 年で一回りします。今年は正確にいうと「戌戌」(つちのえのいぬ)で、私の干支にあたり「還暦」です。

新しい一年が法人運営とすべての事業が安心して過ごせる良い年であり、法人の理念「まことの心」に忠誠な年になれば何より幸いです。



高年齢事業本部長 旭 博之

事業本部情報

(今回から園長も執筆することとなりました。楽しみです)

♥ 児 童 事 業 本 部 ♥

新年あけましておめでとうございます。12月のクリスマスには地域の皆様から子ども達にサンタクロースからのプレゼントとして沢山の贈り物をいただき、こころより御礼申し上げます。

さて、子ども達も新たな年を迎え、こころ新たに目標をもって健康で一年が過ごせますよう私たちスタッフも願っております。また、受験生は自分の目標を明確にし(高校進学、大学進学、就職)自立に向けて準備を進めております。応援よろしく申し上げます。

児童事業本部では、昨年末に平成30年度の採用職員の内定式を行いました。本部長から当法人施設職員としての心構えと運営のビジョンについて話があり続いて、参加者全員でコミュニケーションを高めるゲームを行い内定者の学生さんも緊張がほぐれたようです。その後先輩職員の話聞く会や入職までの提出書類について説明を行いました。希望者に職員宿舎の見学会を最後に実施。初めての内定式でしたが、とても良い会となりました。

いよいよ至誠大空の家サテライト型児童養護施設の二つ目のグループホームそして、至誠大地の家の新しいグループホームもスタートいたします。子ども達が幸せな年でありますようまた、ここに従事するスタッフの皆様にとっても充実した年でありますようお願いしております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(櫻井 壽)



♥ 保 育 事 業 本 部 ♥

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、新園舎改築工事でお世話になりました。昨秋に新園舎に引っ越しを行いました。現在も園庭の整備を行っております。1月末までには全て完了する予定です。

本工事は、平成28年度から2ヶ年計画で行いました。旧園舎を使用しながら新園舎を建て、引っ越し後に旧園舎を解体し園庭の整備と続けました。思い出すのは引っ越しの2日間。保育事業本部各園や保護者の方々から応援を頂き、マンパワーで旧園舎の荷物を運びこむことができました。色々な不安も法人内の連携があってこそ乗り切れたと感じています。園児、保護者、ご近所の皆様にも工事中に生じる事にも辛抱して頂きました。様々な事に理解や協力をして頂いて今日に至り感謝しております。

今年から新園舎で新しい一歩を踏み出していきますので、宜しくお願い致します。

(至誠第二保育園園長 三浦修子)

♥ 高 齢 事 業 本 部 至 誠 ホ ー ム ♥

今年はどうな年? 「外国人の仲間を受け入れることになる。」これまで以上に・複数の人達が固まって・複数の国から・年齢も様々です。春と夏に彼らは来るんです。

3月は、もう目の前です。留学生として来日して、日本語学校に通いながら日本語を学び、仕事も覚える。留学生達は春から至誠ホームに来ます。介護の仕事覚えて先々は「介護福祉士」を目指します。

そして、夏には外国人技能実習生が来日し、国際人材育成機構(アイムジャパン)で1ヶ月間研修を受け、8月から至誠ホームの各施設に配属になります。もう目の前のことです。

以前、ホーム長と私はベトナムの方とは「スカイプ」で複数回面接しました。彼らは片言の日本語を覚えています。日本語の使い方は、彼らに伝わるように話さないとうまく伝わりません。私たちが普段使っている言い方ではわかりません。彼らのことをよく理解して誠意を持って接してあげることが大切です。

外国人が来るのではなく、労働力が来るのではなく、「人」が来るのです。

(金井裕一)

本部事務局だより

新年あけましておめでとうございます。よく「一年の計は元旦にあり」と言いますが、何事も初めに計画を立てることが肝要だという意味ですね。少し昔は「一日の計は朝(あした)にあり、一年の計は元旦にあり」と言っていたようです。更に後年になって、その後ろに「一生の計は勤(仕事)にあり、一家の計は身にあり」が続き、合わせて「四計」と言ったそうです。

「一家の計は身にあり」とはどのような意味でしょうか?物の本によれば「一家の将来は主人の生き方で決まる」という意味だそうですが、少し時代錯誤的な感じがします。現代のサラリーマン社会で言い換えると「会社(組織)の将来は、社長(所属長)の生き方で決まる」と考えたほうが分かりやすいかもしれません。

私も毎年、新年に前の年を振り返り、一年の計画(目標)を立てています。これまで出来た事もあれば出来なかった事もありますが、あれこれとお酒を飲みながら計画(目標)を考えると充実したお正月を過ごすことができます。今年は、そろそろ私の「終身の計」を考えるとしましょう。

(野島忠幸)

<編集後>あけましておめでとうございます。2018年も皆様にとって良き年となりますこと、心よりお祈り申し上げます。まこと館は今年6月で5年目に突入です。本年もどうぞ宜しくお願いします。